

著書紹介

Academic Library

著者自らが新刊を紹介します。

「古典解釈の愉悦 —平安朝文学論攷」

文学部教授 久保朝孝
A5判/394ページ/世界思想社/6,000円+税
/2011.1.31発行
伊勢物語、源氏物語、紫式部集、更級日記等の平安朝文学諸作品を対象に、<読みの更新>というかたちによる<新たな価値の発見>について果敢に挑戦した論攷14編と、折に触れて執筆した古典随想・研究余滴等9編を収める。連環する古典<解釈>の醍醐味が堪能できる一書。本学の出版助成費交付を受けた。



「統合失調症とその周辺…離人症・対人恐怖症の重症例を中心に」

福祉貢献学部教授
高橋俊彦
A5判/205ページ/岩崎学術出版社/3,200円+税
/2011.2.17発行
統合失調症の場合、自分は病気ではないので治療の必要はない、と思っている人は多いが、離人症や対人恐怖症と類似した統合失調症の場合は、「今の自分はあるべき自分とは異なっている」と悩んで治療を求める人が多い。そういう人々の悩みの本質に少しでも近づこうとしたものである。



「フラッシュモブズ —儀礼と運動の交わりとところ」

メディアプロデュース学部准教授
伊藤昌亮
A5判/480ページ/NTT出版/4,300円+税
/2011.3.5発行
デモとテロの時代の中、ネットを震源として世界中で繰り上げられるフラッシュモブ現象。そこでは人間の集合行動の地殻変動ともいべき事態が進行しているのではないかと、日本の2ちゃんねるオフから世界各地のフェイスブック・デモまで、ネット群衆のうねりの中に新たな時代の躍動を探る。ネット時代の新しい群衆論の誕生。

